

第 392 回月例会概要

安全技術応用研究会

承認

記録

委員長
保 科委員
森

- ◎ 日 時：2026年5月15日（金）13時30分～16時30分
- ◎ 場 所：対面（きゅりあん小会議室）＋リモート開催
- ◎ 出席者：15名（法人会員名7社10名、個人会員5名、他0社0名）

1. 開会挨拶

13：30～13：40 企画運営委員長 保科 修一 氏

- ・コンプライアンス宣言、トピックス他
- ・コンプライアンス宣言として、人権尊重、著作権配慮、情報漏えい防止の3点について確認があった。

2. 近況報告「最近の労働災害や自身の安全活動の紹介など」

13：40～14：15 出席者全員

- ・最近の安全活動、業務上の課題、規格動向、個人の近況等について報告があった。
- ・保護メガネについてリスクが下がるのかについて報告があった。
- ・規格に書かれていないことへの対応について報告があった。
- ・遊園地での事故についてISO 12100に照らし合わせて報告があった。
- ・ホームドアと電車のドアはどちらが先の方が安全かについて報告があった。

3. 技術講演「欧州の機械規則について」 労働災害の事例からリスク低減方策を考える

14：20～16：05 (株)コスモスコーポレーション 谷 哲郎 氏

- ・機械規則(MR:EU)2023/1230)に焦点を当てて説明があった。
- ・機械指令からより厳しい機械規則への移行の背景およびスケジュールについて説明があった。
- ・機械規則における主な変更点について説明があった。
- ・主な変更点の一つである「製造者の義務」について詳しく説明があった。
- ・主な変更点の一つである「輸入者/流通業者の義務」について詳しく説明があった。
- ・付属書の変更点について説明があった。
- ・付属書Ⅲの要求事項のサイバーセキュリティ要件に関する整合規格について説明があった。
- ・適合性評価手順の決定について説明があった。
- ・整合規格について説明があった。
- ・「整合規格適合＝十分安全」と言い切れるかについて説明があった。

4. 課題実習「実践、安全確認型システムによるリスク低減／第3回」

16:05~16:30 企画運営委員長 保科 修一 氏

- ・ 当実習は次回へ繰り越しする
- ・ 次回実習に向けて説明があった。

5. 閉会挨拶「次回開催案内、他」

- ・ 第393回月例会は、6月19日(金)13時30分~16時30分、きゅりあん対面+リモートで開催予定。

月例会説明資料：ホームページ内の会員専用ページにて掲載

以上